

関係各位

病害虫防除所長

平成26年度病害虫発生予察技術情報資料（第5号）の送付について

---

**果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）  
の発生に注意してください！**

果樹カメムシ類については9月に入り長崎県、愛媛県、和歌山県、鹿児島県、三重県において注意報が発令されており、本県でも高知市や南国市などでは夜間照明にツヤアオカメムシが誘引されている光景が見られるなど、注意が必要です。

ついては、各種調査による果樹カメムシ類の発生状況をお知らせしますので、今後の防除の参考としてください。

1 フェロモントラップ調査

9月に入り、県内各地で誘殺が見られるようになっている。特に、県東部、西部では平年より多めの誘殺が見られている（図1～4）。

2 予察灯調査

8月下旬以降、県東部、中央部で平年より多めの誘殺が見られている（図5～8）。

3 カキ果実被害調査

県中央部（高知市春野町2ほ場、香南市香我美町2ほ場）で実施しているカキ果実への吸汁被害調査では、これまでのところ被害果率は平年を下回っているが、多発年であった昨年より被害果率が高くなっている（図9）。

4 防除上の注意点

- (1) 果樹カメムシ類の飛来時期、飛来量は地域や園地による差が大きいため、園内外をこまめに見回り、早期発見に努めるとともに、飛来が確認された場合には、速やかに薬剤による防除を実施する。  
なお、防除薬剤は残効期間が長い合成ピレスロイド剤、ネオニコチノイド剤を中心に行う。
- (2) 飛来は、曇天で夜温の下がらない日に多くなる傾向があり、夜温が低下すると飛来数は減少するが、日中の気温が高いと加害は続くので注意する。
- (3) 台風通過後や強風雨後には、風であおられたカメムシが一時的に多く発生することがあるので注意する。
- (4) 果樹カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数の推移は、高知県病害虫防除所のホームページ（<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>）に掲載しているため、果樹園での発生の参考にしてください。防除等は県防除指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、農薬使用基準を遵守してください。

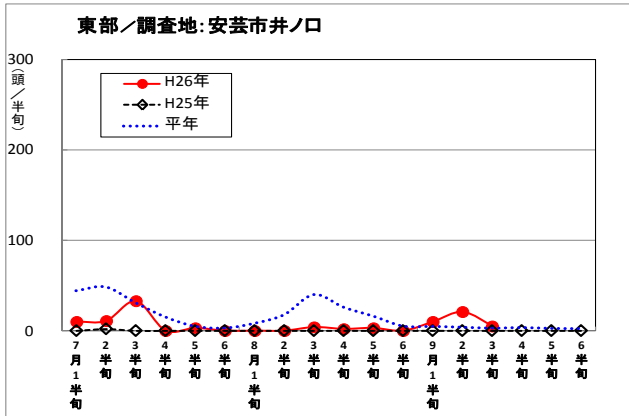


図1：果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数(東部)

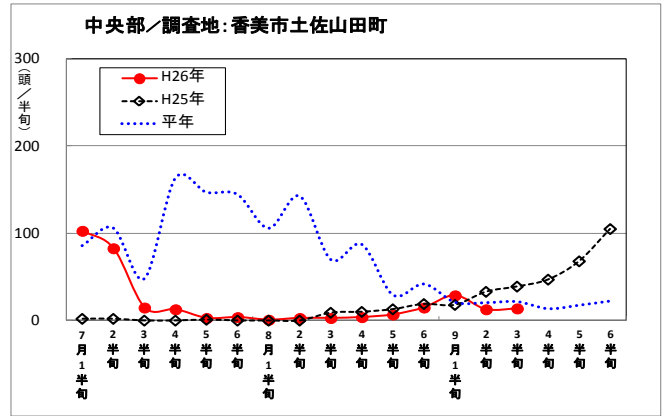


図2：果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数(中央部)

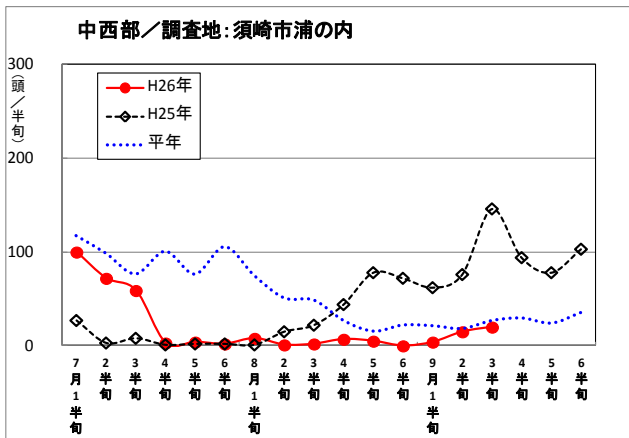


図3：果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数(中西部)

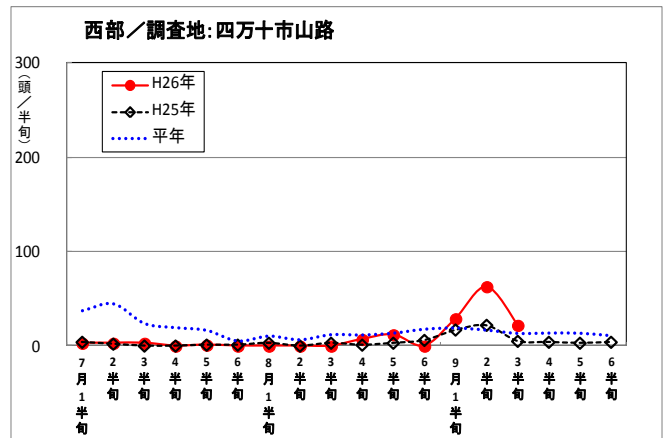


図4：果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数(西部)

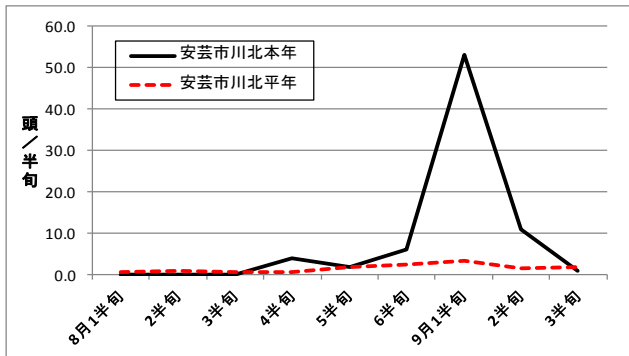


図5：予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数(東部)

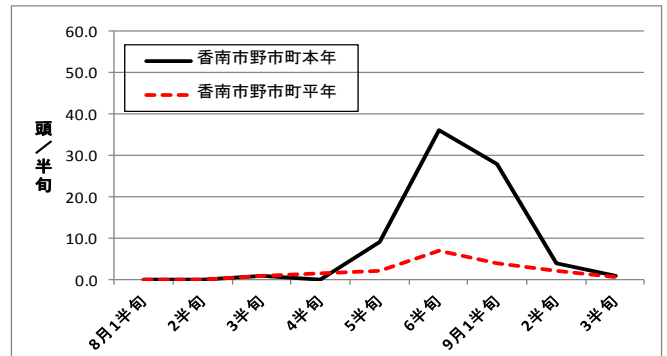


図6：予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数(中央部)

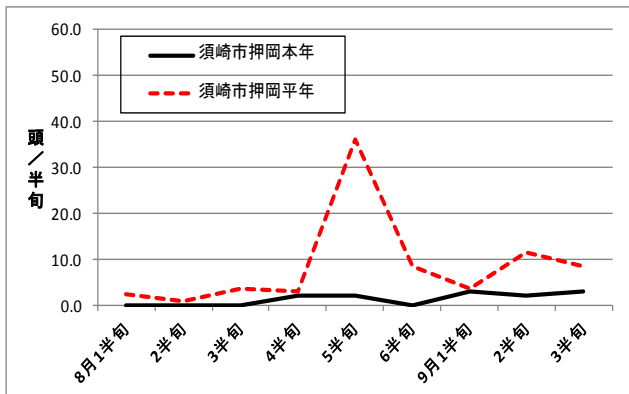


図7：予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数(中西部)

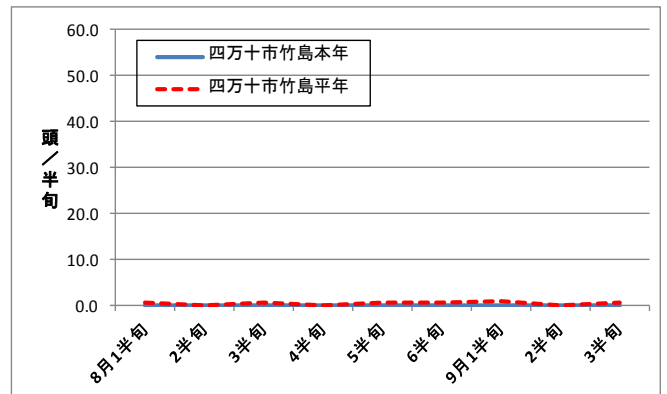
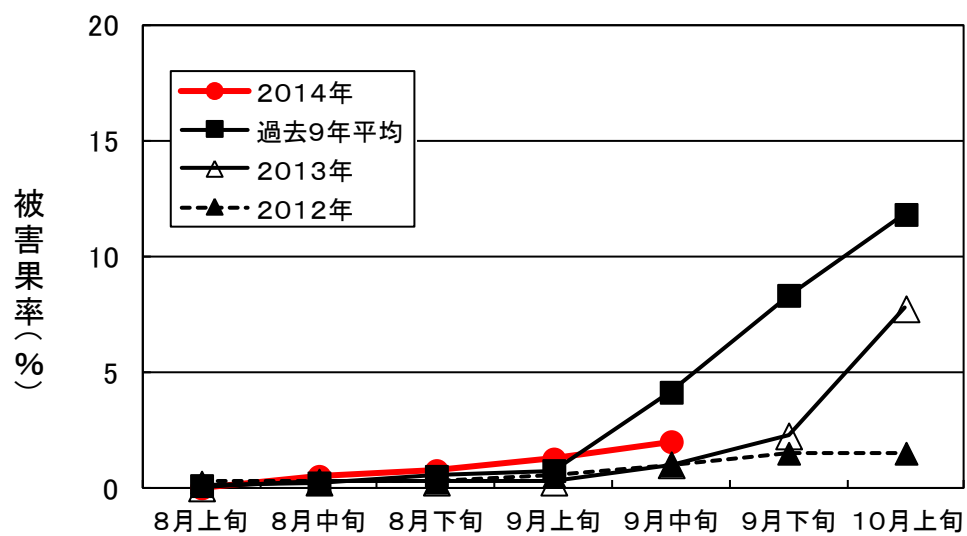


図8：予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数(西部)



第9図 カキ果実の被害果率の推移(4ほ場平均)